

キャラクター名

プレイヤー名

木食 狛応(Kobami Hakuou)/マリユス

シンドローム	ブラム＝ストーカー		ワークス	ゼノスレネグイドビーイングD	カヴァー	止まり木/鷹匠
	ウロボロス					
オブショナル			年齢	享年19/起源は古い	性別	♀/無
覚醒	無知	衝動	自傷		初期侵食率	44%
出自	旧き記憶	経験	死と再生		邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2		0			2	行動値	13
感覚	3		0		2	5	(非装備時)	13
精神	3		0			3	戦闘移動	18
社会	0	1	0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		R C	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ゼノス	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
天空の隼	射撃	5r+4		7		射攻達成値+4,感覚+2(済)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
コネ:情報収集チーム		ロイス			
コネ:要人への貸し					
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ
		遺産継承者:天空の隼P		N	タス
		都築京香	P 連帯感	N 疎外感	消費
		"アダム"	P 慈愛	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果：衝動判定+[Lv]D,侵蝕率基本値+5								
オリジン:プラント	5	2	min					
効果：~sc感覚達成値+[Lv*2]								
サングイン	1							
効果：消費HP+5換算								
エピック	1							
効果：>武器攻撃力+2								
赫き重刃	3	5	min					
効果：Lv以下HP消費,武攻+[消費HP*4]								
黒:ポルターガイスト	1	4+2	min				100	
効果：武器破壊,~sc攻+[武攻]								
赤:ワンショットツークル	1	3+1	maj	武器	2体			
効果：対象2体,Lv/sr,侵蝕率基本値+3								
鮮血の奏者	1	4	set	視界	単体			
効果：Lv以下HP消費,~r攻+[消費HP*3]								
共生体	★							
効果：他生物に寄生。今は木食の血に宿る。								
ベアーフルーツ	★							
効果：食用の果実を生み出す								
記憶の鏡	★	1						
効果：物質から過去の記憶を映像として抽出する								
効果：								
効果：								
効果：								

怪鳥の止まり木たるレネグイドビーイング。自らを贅の端緒とし、血濡れの鳥葬が始まる。

侵蝕率効率と打点の高さだけに焦点を当てれば、そこそこの高経験点卓に突っ込んでも許されるアタッカー(命中は低いところで安定してしまっているが)。最大の弱点は、ミドル戦闘中リザレクト後のHPが1だった場合、打点が激減する事。

【普段の振る舞い】  
標高高い山の木々生い茂る奥地で、動物たちの棲家として立ち続ける。その恵みを貰おうと、幾羽もの鳥類が肩や頭に止まり、足元には小動物が集まる。人間が来た時は体裁を考えて、鷹匠の振りをするが、正直違和感は拭いきれない(というのが明らかに変である)。

【設定的な】  
世界を支える神話的樹木という、人類の集合的無意識。その中でも果実を持つ一本の枝葉がこのレネグイドビーイングである。従って、オリジンをレジェンドとする存在にかなり近いが、植物としての実体、恵みを物理的に伴う側面が強かったため、プラントがオリジンとされている。こうした彼女のルーツから、世界樹を止まり木とする伝説上の鳥が彼女の枝葉を棲家とし、時折その恵みを啄んでいる(Dロイス)。その枝に宿すは原罪の果実。即ち、全人類の血に彼女が流れている。いや、血こそが彼女なのだ。だから、本来彼女は身体を持たない。では人の身体を以て歩くその姿は何なのか。それは、その身の血に色濃く彼女を受け継ぎ、その発現を受け入れた人間の身体だ。原罪の象徴であり、人類の贖罪の徴として、磔を受け入れた聖人の身体に、彼女は宿るのだ。  
では、彼女を止まり木とする鳥の目的は一体全体何なのか。それは、罪ある生を全うしたものに死を齎し、世界へと還す葬送と、同時に死した勇士を選別である。天上へと、もしくは安らかなる冥土へと、死者を送り出す存在なのだ。  
こうした経緯から、彼女の名前は少し多い。まず磔を受け入れた肉体の人物、そしてレネグイドビーイングたる意識の名を用いる。  
グレイプニルが関与する事件において、殲滅対象として掲げるウロボロスであるにも関わらず、プランナーが彼女を起用するのは必然だ。その役割故に、彼女の運命は人類と共にある。然らば、どのような改変の前でも彼女が叛くことはあり得ないのだから。そして彼女が喰らうのは、人の罪か、死を以て天上へと誘わ